
目次

.....

【1】 --- クラウドファンディング ネクストゴールに向かって

.....

【2】 --- 京極夏彦氏特別講演会「行間の謎・紙背の解決」レポ

.....

【3】 --- 動画撮影協力者（エキストラ）募集のお知らせ

.....

【4】 --- 『京都府立医科大学看護学科紀要』35 巻（2025）を橘井にアップしました

.....

【5】 --- 看護学学舎にサインが設置されました

.....

[Book Review] ……編集後記にかえて

【1】 --- クラウドファンディング ネクストゴールに向かって

.....

2/2(月)から始まったクラウドファンディングが、開始 2 週間で目標金額 200 万円を達成しました！ご支援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。また、支援と共に寄せていただく温かいコメントに、皆様からの期待を感じ、励まされております。クラウドファンディングは次のゴールに向けて、3/16(月)23:00 まで実施中です。残りの期間、引き続きご協力のほど、どうぞよろしく申し上げます。

広小路プロジェクト/京都府立医科大学

150 年の歴史を未来へ紡ぐ！京都府立医科大学の拠点をもう一步前へ

◆募集期間：2026/3/16 (月) 23:00 まで

◆募集金額：400 万円 (ネクストゴール)

◆ReadyFor サイト：<https://readyfor.jp/projects/hirokojipj2026>

【2】 --- 京極夏彦氏特別講演会「行間の謎・紙背の解決」レポ

.....

2/13(金)京極夏彦先生の特別講演会にご予約で満席となり、当日は混雑が予想されましたが、皆様のご協力により、無事に開催することができました。ありがとうございました。

京極先生は柿渋色の着物に黒革の足袋と手甲姿で登壇されました。ご自分の作品は「ミステリ」と呼ばれることが多いけれど、「ミステリ」に定義はないとのこと。作家は、依頼されたものを書くだけで、それが営業戦略的にどう売られようと、物語を完成させるのは読者である。読者は読みたいように読めば良い。中から湧き出るのがあれば、誤読でも良い。他人の意見に左右される必要はない。いっそ、読まなくても良い。買ってくれるだけでありがたい。地震大国日本では積読は危険であるが、買った本は、少なくとも背表紙を読んでいることになる。タイトルは中身を端的に表しているものだから、それも読書である。というお話で、会場がざわめきました。

また、小説の大事な部分は、書かれていないところにある。謎は、作中に忍ばせてあるのが好ましい。行間を読むということ、読者の皆さんはくんでいるはずであり、紙の背後を自分で解くのがずっと気持ちいいこともある話から、講演タイトル『行間の謎、紙背の解決』にするりと帰結しました。先生は読者が謎を感じ取り、納得できる解決の仕方がある作品を書くことを心掛けておられる事などをお話くださいました。

今昔様々な作家の名前が登場し、時にユーモアを交え、エネルギッシュな語り口にあってという間の90分でした。百鬼夜行シリーズに登場する京極堂氏の語り口はこんな感じかなと、今後作品を読む楽しみになりました。

[3] --- 動画撮影協力者（エキストラ）募集のお知らせ

.....

このたび、ラーニングコモンズ「Koto Square」のPR動画を撮影することになりました。つきましては、エキストラとして撮影にご協力いただける方を募集します。演技経験は不要で、セリフもありません。友達同士、グループでのご応募も歓迎です！

- ・対象：本学学生・大学院生の方
- ・撮影日：2026/2/26(木)
- ・時間：午前の部 9:30～12:30
午後の部 13:30～16:00 各回 10名程度
- ・撮影場所：附属図書館1階 ラーニングコモンズ「Koto Square」

※ご協力いただいた方には、記念品を贈呈します。

・応募フォーム <https://forms.gle/xhStM6Hqkg5PHzKG6>

【4】 --- 『京都府立医科大学看護学科紀要』 35 巻 (2025)

を橘井にアップしました

.....

京都府立医科大学リポジトリ [橘井\(きっせい\)](#) に、
『京都府立医科大学看護学科紀要』の最新号(2025)を公開しました。
本学看護学科の研究成果です。是非ご活用ください。

【5】 --- 看護学学舎にサインが設置されました

.....

広小路キャンパス活性化プロジェクトの一環として、看護学学舎にトイレ、エレベーター、階段等のサインを設置しました。地階から4階まで、さりげない案内表示でスムーズに移動できるようになりました。

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

.....

島田潤一郎著『あしたから出版社』（ちくま文庫 2022年）

絶版本の復刊やアンソロジーなど良質な書籍を送り出している夏葉社。本書は夏葉社代表で経営から書籍の編集、営業までたった一人でこなしている著者の自伝。元々作家志望だったせいか文章がとても読みやすい。文学や書籍というもの、そして書店や読者に対して真摯に向き合う著者の姿勢に心を打たれた。真面目一辺倒ではなく、ふらふらしていた時期のことも書かれていて好感が持てる（バイト先の女性に次々と振られる話は笑えた）。

夏葉社の本は二冊しか持っていないが、少しずつ揃えて行きたい。勿論大手ネット通販

ではなくお気に入りの本屋さんで。(Y.S.)
(京都市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>
この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/448043822X>

.....

図書館メール News563 号 2026.2.19 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>